

令和	6	年度	年間授業計画	教科	地理歴史科	科目	歴史総合									
教科:	地理歴史科		科目:	歴史総合		単位数:	2	単位								
対象学年組: 第 1 学年																
教科担当者:			A組	青木	B組	前原	C組	難波	D組	中村大	E組	中村大	F組	青木	G組	中村大
使用教科書:			実教出版『詳述 歴史総合』													

教科	地理歴史科	の目標:
【知識及び技能】	現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。	
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史にかかわる事象の意味や意義を多面的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を解決する態度を養う。	

科目	歴史総合	の目標:
【知識及び技能】	近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。	【思考力、判断力、表現力等】
	近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決視野に構想し、説明し、それらを基に議論する。	【学びに向かう力、人間性等】
		近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、我が国の歴史、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 近代化への胎動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解する	当時の国際関係について	18世紀のアジアの経済と社会やヨーロッパの近代市民社会を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり相互に関連付けたりする	プリント	18世紀のアジア諸国における経済活動、各地域間の関係、欧米諸国との関係などを考察し、適切に表現しているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現する	適宜	前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追究し、課題を解決しようとしているか。				
	単 元 2 欧米の市民革命と国民国家の形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	立憲体制と国民国家の形成を理解する	市民革命について	立憲体制と国民国家の形成を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	9
	産業革命や国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定する	プリント	政治变革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容等を考察し、適切に表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	欧米諸国の動向を比較し、相互に関連づけて、政治改革・国民国家の特徴や社会の変容を多面的・多角的に考察、表現する	適宜	近代ヨーロッパの歴史の変化に関わる諸事象について、課題を追究、解決しようとしているか。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						1
	単 元 3 アジアの変容と日本の近代化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	立憲体制と国民国家の形成を理解する	イスラームとアジア世界	立憲体制と国民国家の形成を理解しているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	11
	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定する	プリント	アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し、表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定する	適宜	19世紀半ばのアジアと世界の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとしているか。				
	単 元 4 帝国主義の時代	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する	列強と日清・日露戦争	列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定する	プリント	帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現しているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する	適宜	19世紀末～20世紀初頭の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとしているか。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説			○	○	○	1

令和 6 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科

科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A組	青木	B組	前原	C組	難波	D組	中村大	E組	中村大	F組	青木	G組	中村大
使用教科書：	実教出版『詳述 歴史総合』													

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史にかかわる事象の意味や意義を多面的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を解決する態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決視野に構想し、説明し、それらを基に議論する。	近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、我が国の歴史、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 第一次世界大戦と大衆社会	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する	第一次世界大戦	総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	第一次世界大戦の推移と世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定する	プリント	第一次世界大戦、国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	第一次世界大戦の性格と、日本とアジア及び太平洋地域の関係、国際協調体制などを多面的・多角的に考察、表現する	適宜	1910～1920年代の諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしているか。				
	単 元 6 経済危機と第二次世界大戦	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	国際協調体制の動揺と、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する	世界恐慌と第二次世界大戦	国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
	経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定する	プリント	経済危機、国際秩序や政治体制の変化、第二次世界大戦の性格と惨禍などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	第二次世界大戦の性格と惨禍、社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策などを多面的・多角的に考察し、表現する	適宜	第二次世界大戦前後の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしているか。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説			○	○	○	1
	単 元 7 冷戦と脱植民地化	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	国際政治の変容、市場経済の変容と課題を理解する	冷戦と世界経済	国際政治の変容について理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	12
	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定する	プリント	日本の高度経済成長、地域紛争と冷戦、第三世界の国々などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	地域紛争と冷戦、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する	適宜	1950～1970年代の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとしているか。				
	単 元 8 多極化する世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる	冷戦後のグローバル化	冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	4
	冷戦の終結、民主化の進展、地域紛争の拡散とそれへの対応を基に、主題を設定する	プリント	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する	適宜	1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしているか。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説			○	○	○	1

令和 6 年度

年間授業計画

教科

地理歴史科

科目

歴史総合

教科： 地理歴史科

科目： 歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年

教科担当者：	A組	青木	B組	前原	C組	難波	D組	中村大	E組	中村大	F組	青木	G組	中村大
使用教科書：	実教出版『詳述 歴史総合』													

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史にかかわる事象の意味や意義を多面的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を解決する態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野からとらえ、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し解決視野に構想し、説明し、それらを基に議論する。	近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養い、我が国の歴史、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 グローバル化と現代世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解させる	冷戦後のグローバル化	冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解しているか。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	冷戦の終結、民主化の進展、地域紛争の拡散とそれへの対応を基に、主題を設定する	プリント	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現しているか。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する	適宜	1989年以降の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとしているか。				
	単 元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説			○	○	○	1